

● 平成30年度に実施した自校の学力調査結果 (単位:%)

平成30年10月1日
墨田区立錦糸小学校

教科	観 点	墨田区学習状況調査										全国学力・学習状況調査	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		6年A	6年B
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	73.8	73.3 77.0	68.1	59.8 68.6	66.9	57.2 66.8	61.9	63.3 62.3	66.9	63.5 69.5		26.7 33.2
	話す・聞く能力	68.0	69.3 71.3	77.1	80.4 80.8	67.0	59.1 67.0	60.0	62.4 60.3	64.4	63.0 64.3	86.7	65.6 64.6
	書く能力	76.9	74.2 79.4	59.5	45.8 58.0	62.7	50.7 62.6	56.0	58.3 57.4	64.1	54.5 68.5	66.7	38.7 45.6
	読む能力	66.1	64.1 69.0	63.6	68.1 63.8	65.0	56.1 64.5	71.6	73.7 74.9	69.4	66.7 74.0	68.3	48.3 50.8
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	93.1 94.6	81.4	80.6 84.3	71.0	62.7 73.8	70.4	75.1 76.4	64.4	57.5 69.0	59.2	
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度					58.9	50.9 59.0	60.6	64.6 64.1	59.0	51.5 61.4		
	社会的な 思考・判断・表現					62.4	52.9 62.4	56.9	60.4 59.1	60.7	50.9 62.7		
	観察・資料活用 の技能					68.9	60.1 68.5	60.5	66.2 60.1	64.5	50.5 64.0		
	社会的事象につ いての知識・理解					68.8	58.5 68.5	63.2	67.0 62.9	63.6	47.8 63.1		
算数	算数への 関心・意欲・態度	71.1	73.1 70.4	61.0	61.7 63.3	72.5	63.1 71.4	57.5	53.1 51.0	40.0	25.3 32.2		
	数学的な考え方	68.4	66.9 67.8	67.2	67.8 65.5	64.4	57.8 66.5	61.1	56.9 57.5	56.8	47.6 53.0		45.6 49.2
	数量や図形に ついての技能	81.0	86.4 85.0	79.3	80.9 80.5	77.6	73.1 79.8	68.6	66.1 66.1	68.2	52.0 69.9	53.3	
	数量や図形につ いての知識・理解	83.2	83.5 84.7	71.1	70.0 70.8	74.7	67.9 74.7	66.9	64.7 64.4	71.3	57.5 72.7	54.4	53.3 71.7
理科	自然事象への 関心・意欲・態度					76.3	65.2 81.0	70.5	64.9 72.7	60.7	46.7 62.0	76.7	82.1
	科学的な 思考・表現					61.3	51.3 64.0	63.6	63.6 66.0	64.0	47.6 68.6	45.8	54.1
	観察・実験の技能					80.5	72.1 85.9	70.5	67.1 75.5	68.7	51.3 72.5	53.3	71.1
	自然事象につ いての知識・理解					70.7	61.5 73.4	71.3	67.5 73.9	68.7	51.3 70.9	65.0	81.5

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したものの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
- 2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0、5として換算している。

全国学力・学習状況調査の理科については、A（知識）とB（活用）を一体的に問う調査を実施した。

● 自校における調査結果の分析

<p>◇よい点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科の正答率が全国平均に近づいているか同程度である。観点別で見ると「話す・聞く能力」は3つの学年で目標値を超え、4つの学年で全国平均と同程度となっている。また、「読む能力」でも高学年は昨年度より全国平均との差が縮まり、全国平均を上回っている学年もある。 ・国語科「書く能力」において、2つの学年が昨年度より全国平均に近づいており、全校でみても改善傾向にある。 ・社会科、理科において、D・E層の割合が昨年度に比べて減少している。また、算数科において、A・B層の割合が昨年度に比べて増加している。 ・6割以上の児童が昨年度より正答率が伸びているか同程度となっている。全校児童の75.2%が、少なくとも1教科正答率が伸びている。 <p>◆課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字の書き」の正答率が低く、どの学年も全国平均を下回っている。 ・作文問題において、問題形式に慣れていないため、「2つの段落に分ける」「指定文字数書く」という条件に合わせて作文することが苦手である。また、約4人に1人が作文問題に無回答である。 ・理科の正答率が低く、特に短答・記述問題の無回答率が高い。 <p>◎改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科を中心に各教科で書く活動を取り入れ、日常的に自分の考えを書く経験を増やすとともに、振り返りシートを活用したり、過去の区調査において課題のある設問等を分析したりして、学力向上の対策を講じる。 ・問題の把握→予想→実験・観察方法の見通し・確認→結果の予想→実験・観察→結果→問題に対する結論 のように思考の流れを大切に授業を展開するとともに、振り返りシートを活用したり、過去の区調査において課題のある設問等を分析したりして、学力向上の対策を講じる。
